

にっぽだより

令和2年5月号

発行：第二いずみの里広報委員会

※ 第二いずみの里ホームページにてカラー版がご覧になれます。“中東福祉会”で検索

車窓からお花見

今年新型コロナウイルス感染予防のため、ドライブでのお花見となりました。マイクロバスで間隔を開けてゆったりと座り、窓から入る春の風を感じながら車窓から桜を楽しんでいただきました。辛抱疲れの毎日ですが、少しリフレッシュできたひと時だったと思います。

来年はコロナ禍が収束し、花と団子、どちらも満喫できる花見になることを願うばかりです。



健康生活班の取組み

健康生活班では、毎週2回レクリエーションに取り組んでいます。写真はその中の一つ「パラソル玉入れ」。ご利用者が傘を囲んで輪になり、中心の傘を目がけて球を入れるというゲームです。ボールをにぎり腕を上から下へ、下から上へ動かし、狙いを定めて投げるので、楽しみながら上肢の運動や集中力アップの効果が期待できます。

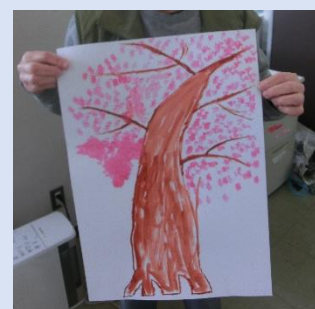
他のメニューも随時ご紹介していきますのでお楽しみに。



創作活動紹介

綿棒6本をゴムで束ね、ピンクの絵の具を付けて紙にポンポンポン・・・満開の桜の絵が出来上がりました。

工作クラブ講師をお呼びできない中で、季節感のある活動を企画したいと、雑誌からアイデアを見つけました。身近な物がアート材料になる・・・新たな発見でもありました。



施設裏にフェンスを設置しました

昨年夏の施設周りの舗装に続き、裏の側溝や林への侵入防止として、施設裏に白いフェンスを設置いたしました。居室からの眺めも心配していたほど圧迫感はありません。

フェンスがご利用者の安全な暮らしの一助となることを願いつつ、今後より一層、ご利用者の意向に沿った生活の実現、そして地域に開かれた施設運営を目指していきます。

